

## 平成23年度「学習定着度に関する調査」(12月1日実施)の結果について

1. 本校の学年別・観点別学習到達度の概要は、次の通りです。

### 各教科総合及び観点別結果概要

【4年生】		【6年生】	
<b>国語</b> : 「全国平均と同程度である」	話す・聞く能力 : 「努力を要する」	<b>国語</b> : 「全国平均と同程度である」	話す・聞く能力 : 「同程度である」
書く能力 : 「同程度である」	読む能力 : 「同程度である」	書く能力 : 「同程度である」	読む能力 : 「同程度である」
知識・理解・技能 : 「同程度である」		知識・理解・技能 : 「努力を要する」	
<b>社会</b> : 「全国平均と同程度である」	思考・判断・表現 : 「同程度である」	<b>社会</b> : 「全国平均と同程度である」	思考・判断・表現 : 「同程度である」
資料活用の技能 : 「努力を要する」	知識・理解 : 「同程度である」	資料活用の技能 : 「同程度である」	知識・理解 : 「同程度である」
<b>算数</b> : 「全国平均と同程度である」	数学的な考え方 : 「同程度である」	<b>算数</b> : 「努力を要する」	数学的な考え方 : 「努力を要する」
技能 : 「同程度である」	知識・理解 : 「同程度である」	技能 : 「同程度である」	知識・理解 : 「同程度である」
<b>理科</b> : 「努力を要する」	思考・表現 : 「努力を要する」	<b>理科</b> : 「全国平均と同程度である」	思考・表現 : 「やや上回っている」
技能 : 「努力を要する」	知識・理解 : 「努力を要する」	技能 : 「やや上回っている」	知識・理解 : 「同程度である」

2. 各教科における領域別の結果は次の通りです。

国語	4年生は、話す・聞く領域において、落ち込みが見られる一方、説明文を読むことについては、全国平均をやや上回っています。6年生は、言語に関する知識・理解に若干落ち込みが見られます。
社会	4年生は、「消防や警察のはたらき」「飲料水を確保するはたらき」「都道府県の理解」について、全国平均をやや上回っています。6年生は、「日本の国土」「産業」「歴史」等の全領域で全国平均と同程度であるとの結果を得ました。
算数	4年生では、「大きな数・少数・分数」「余りのある割り算」「長さ・重さ・時間・角度」「道のりと距離」「立体の形や辺の数」「折れ線グラフと二次元表」等、ほとんどの領域で全国平均と同程度であるとの結果を得ましたが、唯一、「円と四角形の名称」を問う問題で、「努力を要する」となりました。6年生では、分数や小数の文章題で「努力を要する」となった一方、小数のかけ算や割り算の計算は、「やや上回っている」との結果を得ています。
理科	4年生では、「植物」「昆虫」「重さ」「磁石」「星の明るさ」の領域で「努力を要する」となりました。6年生では、「ものの燃え方」で全国平均を上回ったほか、「電池の働き」「メダカの誕生」「月と太陽」においても、「やや上回る」との結果を得ています。

3. 結果を受けて、学校では次のように取り組めます。

- 「花っ子タイム」で計算や漢字の習熟に取り組む一方で、各教科において自分の考えを書く活動に力を入れます。
- 「努力を要する」とされた領域については、本年度中に復習の時間を設定するなどして児童の理解を促進します。
- 苦手な分野を中心に宿題を出します。

4. 保護者の皆様へのお願い

- 宿題を確実にしているかを把握していただきますようお願いします。
- 「自学習慣」を身に付けることができるようご協力ください。(特に、中学進学を控えた6年生)